

感染性胃伝染性紅斑(りんご病)が増加しています!



県内の患者数

	今週	前週		今週	前週
インフルエンザ	↗ 6	3	百日咳	→ 0	0
RSウイルス感染症	↗ 63	38	ヘルパンギーナ	↗ 14	4
咽頭結膜熱	↗ 29	22	流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	↗ 60	54
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	↗ 77	74	急性出血性結膜炎	→ 0	0
感染性胃腸炎	↗ 536	492	流行性角結膜炎(はやり目)	↘ 33	40
水痘	↗ 10	9	細菌性髄膜炎	↗ 2	0
手足口病	↗ 33	21	無菌性髄膜炎	↗ 3	1
伝染性紅斑(りんご病)	↗ 120	59	マイコプラズマ肺炎	↘ 5	6
突発性発しん	→ 31	31	クラミジア肺炎	→ 0	0
			感染性胃腸炎(ロタウイルス)	↗ 3	1

報告が多い感染症  
 感染性胃腸炎  
 伝染性紅斑  
 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

大きな流行が発生又は継続しつつある地域  
 感染性胃腸炎 : 菊池  
 伝染性紅斑 : 菊池、天草、熊本市、山鹿  
 流行性角結膜炎 : 熊本市

保健所別発生状況(インフルエンザ・小児科・眼科・基幹定点)

保健所名	インフルエンザ	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎	感染性胃腸炎(ロタウイルス)
熊本市保健所	1	37	7	35	101	5	7	33	13			13		25	2	3	3		3
山鹿保健所		1			37	1	1	3	2			5	*	*					
菊池保健所		17	11	11	134		23	42	6		5	8		3					
阿蘇保健所					5								*	*					
御船保健所				2	32			4				1	*	*					
八代保健所		3		4	41	1		7	4		1								
水俣保健所		1			11			1	1				*	*					
人吉保健所	5			2	25	2		2	2			3	*	*			1		
有明保健所			7	5	80	1	1	9	1			14		5			1		
宇城保健所		3	1	4	20		1	3				16	*	*					
天草保健所		1			14			16	2		8								
計	6	63	29	77	536	10	33	120	31	0	14	60	0	33	2	3	5	0	3

年齢別発生状況(インフルエンザ・小児科・眼科・基幹定点)

インフルエンザ定点	合計	0~5カ月	6~11カ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14	15~19	20~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70~79	80歳以上
インフルエンザ	6	0	0	0	0	0	1	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
小児科定点年齢	合計	0~5カ月	6~11カ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14	15~19	20歳以上						
RSウイルス感染症	63	2	16	24	10	8	2	0	1	0	0	0	0	0	0						
咽頭結膜熱	29	0	5	5	9	3	2	4	1	0	0	0	0	0	0						
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	77	0	0	3	4	9	7	14	6	10	5	5	11	1	2						
感染性胃腸炎	536	3	30	79	55	50	50	43	38	38	28	25	60	6	31						
水痘	10	0	0	3	1	0	2	0	3	0	1	0	0	0	0						
手足口病	33	1	4	19	5	1	2	0	0	1	0	0	0	0	0						
伝染性紅斑	120	1	1	4	5	14	13	16	13	19	14	6	13	0	1						
突発性発しん	31	0	13	13	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0						
百日咳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0						
ヘルパンギーナ	14	1	1	4	6	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0						
流行性耳下腺炎	60	0	0	3	3	8	15	11	9	4	1	0	5	0	1						
眼科定点年齢区分	合計	0~5カ月	6~11カ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14	15~19	20~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70歳以上	
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
流行性角結膜炎	33	0	0	2	3	4	1	0	1	0	1	0	1	2	2	5	6	2	0	3	
基幹定点年齢区分	合計	0歳	1~4	5~9	10~14	15~19	20~24	25~29	30~34	35~39	40~44	45~49	50~54	55~59	60~64	65~69	70歳以上				
細菌性髄膜炎	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1				
無菌性髄膜炎	3	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0				
マイコプラズマ肺炎	5	0	3	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0				
クラミジア肺炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	3	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				

伝染性紅斑(りんご病)が増加しています

伝染性紅斑は、幼児から学童の小児を中心にみられる流行性の発疹性疾患です。本県においては、6月頃から増加しており、以後増減を繰り返しながら増加傾向が続いています。今週においては、菊池、天草、熊本市、および山鹿が国の警報レベルを超えています。(※補足:一旦警報開始基準値を超えると警報終息基準値を下回るまで警報は継続されます)

伝染性紅斑は、10~20日の潜伏期間の後、頬がりんごのように赤くなるので、りんご病とも呼ばれています。続いて腕、脚にも両側に網目状の発疹がみられます。発疹は通常、1週間前後で消失します。成人では両頬の紅斑はあまりみられません。関節痛や関節炎がみられることがあります。多彩な症状がみられますが、不顕性感染(感染しても症状が現れない状態)も一定程度(約4分の1)存在することから、届出以外にも感染者が存在すると考えられています。通常は、飛沫感染もしくは接触感染で感染します。妊婦さんが感染すると、流産の可能性もありますので、流行時期には人混みを避けて、丁寧な手洗いを励行し、食器の共有を避けるなどの対策をとりましょう。

